

秘蔵の名品を一挙公開



開館記念展示

時空をこえる本の旅

2011年 10月20日(木) 開館 東洋文庫ミュージアム

東洋文庫

〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-21
TEL : 03-3942-0280

入館料 880円(一般)・680円(大学生)・
580円(中・高校生)・280円(小学生)

アクセス 駒込駅(JR、東京メトロ南北線) 徒歩8分
千石駅(都営地下鉄三田線) 徒歩7分

開館時間 10:00 ~ 20:00 ※入館は閉館の30分前まで

休館日 毎週火曜日(但し、火曜が祝日の場合は次の平日)、
12月30日~翌年1月1日

Toyo Bunko Museum

2011年10月20日(木)

日本最大級の「本のミュージアム」、ついに開館!

東洋文庫は、1924年に岩崎久彌(三菱第三代社長)が設立した東洋学の研究図書館です。より多くの方にアジアの歴史や文化に興味をもていただけるよう、このたび展示スペースを設けミュージアムを開館することになりました。最新のデジタル技術や空間演出を駆使し、約100万冊にのぼる蔵書の中から国宝・重要文化財をはじめとする貴重書や絵画など、秘蔵の品々をご覧にいれます。楽しみながらアジアを、そして日本を知る。遊びと知が深く結びついた新しい形のミュージアムをぜひご体感ください。

開館を記念しまして、国宝『史記』を10月20日のオープンから12月26日(月)まで初公開するほか、浮世絵や古地図、マルコ・ポーロ著『東方見聞録』の一大コレクションなど、東洋文庫が誇る名品約100点が勢ぞろいします。また、2012年2月26日(日)まで辛亥革命百周年を記念する企画展示コーナーを設け、東アジア激動の時代を当時の貴重な資料とともに振り返ります。こちらもお見逃しなく。



①国宝『史記』 1145年写 *展示期間:10月20日~12月26日
 ②重文『ドテリーナ・キリシタン』 1592年 *展示期間:12月20日~2月26日
 ③エドワード・ダンカン画『アヘン戦争図』 1843年
 ④『甲骨卜辞片』 紀元前17-11世紀
 ⑤葛飾北斎『諸国瀧廻り』全8図より 1832~33年
 ⑥遠近道印作『改選江戸大絵図』 1701年 *展示期間:10月20日~12月26日
 ⑦マルコ・ポーロ著/ビビノ訳『東方見聞録』 1485年

展示室のご案内

I オリентホール — 東洋文庫の歴史と蔵書の概要についてご紹介します

◆主な展示…アジア各地の様々な言語で書かれた本、16-19世紀の洋古書、新井白石、新渡戸稲造ほか著名人ゆかりの本など

II モリソン書庫 — 約2万4千冊のモリソン文庫の書庫へご案内

◆主な展示…『ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)書簡集』、チベットの経典、嵯峨本、西洋の博物図鑑など

III ディスカバリー・ルーム — 東西世界の出会いと発見をテーマに企画展示をします

企画1「キリスト教と東アジア」、

◆主な展示…キリシタン版『サクラメンタ提要』(展示期間:10月20日~12月18日)、マリー・アントワネットの旧蔵書『イエズス会士書簡集』、中国の初期銅版画『円明園西洋楼銅版画』、西洋の古地図、など

企画2「激動の近代東アジア」(辛亥革命百周年記念展示を含む)

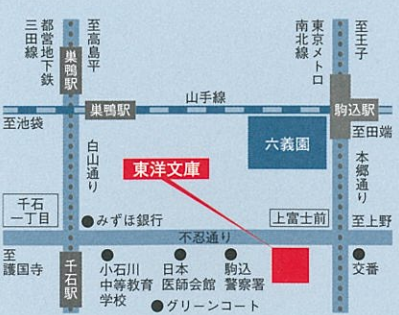
◆主な展示…『オイレンブルク遠征図録-日本・中国・シャムの風景』、海援隊発行『和英通韻伊呂波便覧』、孫文自筆の書軸など

IV 回顧の路 — 時空をこえる旅のゾーン

◆主な展示…日本初の印刷物『百万塔陀羅尼』、『甲骨卜辞片』(甲骨文字)、東洋文庫で出土した縄文時代の遺物など

V 国宝の間 — 国宝を毎月展示替えするほか、『東方見聞録』のコレクションを一挙に公開します

◆主な展示…国宝『史記』(展示期間:「夏本紀」10月20日~11月21日、「秦本紀」11月23日~12月26日)、国宝『文選集注』(展示期間:「巻第48残巻」12月28日~1月23日、「巻第59」1月25日~2月26日)、葛飾北斎『諸国瀧廻り』、日本の古地図など



交通案内
 駒込駅(JR山手線南口、東京メトロ南北線2番出口)徒歩8分 / 千石駅(都営地下鉄三田線A4番出口)徒歩7分

東洋文庫
 TOYO BUNKO
 〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-21
 TEL : 03-3942-0280
 http://www.toyo-bunko.or.jp

あわせてご利用ください

- ◆ミュージアムショップ
『マルコ・ポーロ』
(10:00 ~ 20:00)
- ◆レストラン
『オリент・カフェ』
(11:30 ~ 21:30)

こちらのチラシ持参で4名様まで(1)贈礼が100円割引になります。(2012年12月末まで有効)